

令和7年卒業お祝い号
編集発行人
京都府亀岡市内丸町15
亀岡市立亀岡小学校
飛田祥
印刷所 株式会社 天声

『限りある時間』の使い方

学校長 飛田 祥

巣立ちゆく一〇九名の大切な皆さんへ
ご卒業、おめでとうございます！
皆さんの小学校生活はいかがだった
でしょうか？ ついこの間、入学したと
思ったら、もうすぐ中学生。あつとい
う間の六年間だったなという感じで
しょうか。「いやいや、けっこう長かつ
たよ」という人もいられるでしょうね。人そ
れぞれだと思えますが、「時間が早く
感じる」という感覚は、年を重ねれば
重なるほど強く感じるようになります。
す。もしかすると一年生の一年間より、
六年生の一年間の方が早く感じたりか
もしれませんね。もちろん皆さんより
年長である私の方がさらにその感覚
は強いです。これは「ジヤネーの法則」
といひまして、記憶される年月の長さ
は年少者にはより長く、年長者にはよ
り短く評価されるというもので、心理
学の分野で明らかにされています。

「光陰矢の如し」という諺がありま
すが、まさに、ばーっとしている時
間が矢のように飛んでいってしま
います。ほんのちよつとのつもりでスマ

ホを開いて、気が付くと、一時間経っ
ていることがあるのではないでしょ
うか。

中学校に行く小学校とは違う「時
間」に対する意識が生まれます。決
まった時期に定期テストがあったり、
クラブで遠征に行くにも、小学校のよ
うに親がついてきてくれるわけでは
なく、自分たちでいかなければなりま
せん。時間を守らないと電車に乗り遅
れ、試合ができなくなったりしま
す。そこで皆さんに最近読んだ「時間」
に関する本を紹介して締めくくりた
いと思ひます。

『限りある時間の使い方』（オリ
バー・パークマン著、高橋璃子訳、
かんき出版二〇二二年）という本で
す。これは、本を開いたしよっぱな
かインパクトの強い言葉が目につ
び込んできます。「人の平均寿命は短い。
ものすごく短い。バカみたいに短い。」
と書かれています。どのくらい短い
かというと「人生は、たったの四〇〇〇年
週」だといっています。今や一〇〇年

時代とはいふものの平均年齢からし
て八〇歳くらいまで生きるとみなす
とおおざっぱに一年五〇週で、八〇年
を掛けると四〇〇〇週になります。

人ってけっこう区切りを意識する
傾向があつて、例えば勉強を頑張ろう
と決めても、すぐにやり始めること
で難しいんですよ。「よし、九時から
勉強を始めよう！」と決めても、その
時間に始められなかったら「今日はや
めた。明日からは始めるぞ」と思ふよ
うになります。そして明日に始められ
なかつたら、また「今日はできなかった
し、明日からはじめよう！明日から
頑張るために今日は存分に漫画を読
むぞ。」と仕切り直しをしようとしま
す。それでもできないと「今週はもう
いい、来週の月曜日からはしよう」と
週初めからやることにしようとしま
す。そして月曜日に始められないと、
次の「月曜からはじめればいいわ」と
いうふうにと、どんどん時間だけがた
づらに過ぎていきます。だからこそ
「今」を大切にすることが必要な
です。それが限られた時間に生きてい
る「自分」を愛することだと思ひます。無
限の可能性に満ちた世界を作り出す
のは皆さんが「今」をいかに生きるか
で変わってきます。豊かな中学校生活
にしてください。

保護者の皆様へ

終業式をもちまして、令和六年度の
すべての教育活動が終了となります。
この一年間、本校の教育活動に温かい
ご支援とご協力をいただきましたこと
に深く感謝申し上げます。誠にあり
がとうございました。

六年生のみなさんへ

PTA副会長 村上 健一

六年生の皆さん、ご卒業おめでとうござい
ます！
六年生の皆さんが、卒業、というこの記念すべき日
を迎えることができたこと、また、友達と二階に六
年間学び成長してこれたことに改めてお祝いを申
し上げます。

小学校生活は長かったですか。それとも短く感じ
ましたか。皆さんは、平成三十年四月にこの亀岡
小学校に入学しました。平成最後の入学生だったの
ですね。入学式のこと覚えていますか。目をキラキ
ラさせながら入学式に出席した皆さんですが、椅子
に座ると、足が床につかず、おぼろげにしている子も
いましたね。真つさらのきれいなランリクを背負つて
入学してから六年間、コロナ禍で従来とは違う小学
校生活も乗り越え、心も体も立派に成長しました。
これまで多くの先生方に支えられ、仲間とともに
いろいろな経験を重ねて、思ひ出のついでに詰まつた、
この亀岡小学校を巣立つ時となりました。皆さんは
夢や目標をもって、大人へと続く道を歩みだそうと
しています。これから、自分自身で考え判断しな
ければならぬことが増えていきます。不安な時も
あるでしょうが、皆さんの両親はいつもそばで、そ
つと見守つてくれています。そして、先生方も同じ
気持ちで巣立っていく皆さんのことを、離れていて
も見守つてくれていることでしょう。

これから中学校生活が始まりますが、流れるよう
に毎日過ぎていくことと思ひます。どうか日、一
日を大事にしてください。きのうの自分よりも、今
日の自分を少しでも成長させ、明日の自分をさらに
成長させましょう。でも時には休むことも大切です。
無理し過ぎないようにしてくださいね。

最後に、誠にありがとうございました。保護者の皆様、お子様の
ご卒業、誠にありがとうございました。保護者の皆様
におかれましては、様々な思いでわが子を見つめる
日々であつたことでしょう。子どもが笑顔の日には、
子どもと共に笑顔で喜び、子どもがつかいときには、
自分の痛みであるかのように思ひ悩んだり、毎日毎
日お子様を見守る愛情を注いだ日々であつたと思ひ
ます。そんな六年間の学校生活において行事や学校
活動のご協力だけでなく、PTA活動にも多大な
ご理解、ご尽力をいただきましたことを心より感
謝申し上げます。誠にありがとうございました。

六年生へお手がみを書きました。

一年

いつもあそんでくれて、ありがとう。そつぎようして、あえなくなるのはさみしいです。六年生ずうとずうと大すぎだよ。いっしょうわすれないよ。だから、六年生もわすれないでね。

一年

そつぎようおめでとーございます。六年生はいつもみんなにやさしくして、みんなの気もちがいいです。

一年

いつもやさしくしてくれて、ありがとう。中学生になってもがんばってね。ずうと、ずうと大すぎだよ。

一年

とう校はんのとき、一年生の足のはやさにあわせてくれてありがとう。そのじの日に、いつもきてくれて、やりかたをおしえてくれてありがとう。

一年

一学きに、かばんの入れかたをおしえてくれてありがとう。ございました。名ふだのつけかたもおしえてくれてありがとう。ございました。

一年

そうじを手つだててくれてありがとう。ございました。わたしもそうじをがんばります。ありがとーございます。



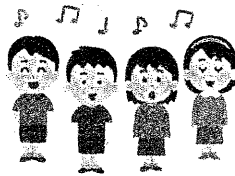
六年生をおくる会でかんじたことを書きました。

二年

今日、六年生をおくる会をしました。きんちようしたけど、四年生のはっぴようがおもしろかったの、と中からきんちようがなくなりました。友だちのげきのタノモツシーやくがおもしろかったです。さいしよは、みんなきんちようしたと思いましたが、がんばっていてすごいと思いました。ぼくは、歌を歌いました。

大声を出して歌いました。六年生が中学校でもがんばってくれると思いました。

これから六年生といっしょにあそんで、さいごの思い出をつくりたいです。



二年

わたしは、六年生をおくる会で歌係でした。一年生のはっぴようのとき、一年生のはっぴようがすごくじょうずだったの、こわくなりました。だけど、二年生のはっぴようのとき、みんながわらってくれてうれいなど思いました。自分のとなりの友だちも、歌を歌うのを大きな声で歌っていたので、気もちよくわたしも大きな声で歌えていたと思います。

一年生は、大きな声でかわいくはっぴようして、三年生は組体そうがすごくきれいで、四年生は、おもしろくてかっこよかったです。

かったです。五年生は、歌もすごくきれいで、声もそろっていました。五年生は六年生になるからがんばってほしいです。

さいごに、六年生は中学校でもがんばってほしいです。歌声もすごきれいで、さすが先ばいだなと思いました。先生も全校のみなさんも一生けんめいのいい六年生をおくる会になったと思います。

二年

六年生をおくる会をしました。二年生が、「ククガスキーだよ。」とげきの中で言いました。六年生は二年生のげきがおもしろくてわらってくれました。わたしは、かざりづくりをがんばりました。

二年

六年生をおくる会で、さいごに六年生がうれしかったと思つて歌を歌ってくれたのがうれしかったです。六年生が助けてくれていつも助かっています。今までありがとう。ございました。

二年

六年生をおくる会をしました。三年生の組体そうが六年生みたいでかこよかったです。わたしもげきをがんばりました。また、やりたいです。

六年生はみなさん、いつもみまもってくれてありがとう。ございました。



六年生を送る会を終えて

三年

私は、「六年生を送る会」を100%でできたと思います。理由は組立体操が不安だったけれど、上手く出来たからです。次に、六年生への思いは、中学校に行かれても、今までの思い出した時に、「ああ、良い送る会だったな」と思つてほしいです。自分たちの発表ではみんなが一人一人セリフを忘れずに言えていて、組立体操も六年生がおどろくぐらい良かったと思います。

あと、〇〇君が初めてなのにめっちゃ上手かったです。私は笑顔で、いつでも優しく、勇気があって、うらやましいと思つてもらえるような六年生になりたいです。

三年

六年生、今までありがとう。ございました。六年生が中学校に行つてしまふことがさみしいけれど、中学校でもがんばって下さい。ぼくが六年生になったら、友だちと明るい六年生になりたいです。

三年

一年生から六年生まで上手に歌を歌つていてすごいなと思いました。自分のがんばったことは、組立体操のウエーブをがんばりました。先生の発表もすてきだし六年生も発表をするとは思わなくてびっくりしました。みんながんばっていてすてきな六年生を送る会だと思いました。



三年

足技をがんばりました。とくにがんばったことは、心を合わせて一つの足技を完成することです。歌はまあまあでした。

思いっきり楽しむことの良さ

四年

私は、今日の「六年生を送る会」を通して「思いっきり楽しむ」ことの良さを知ることができたと感じました。その理由は二つあります。

一つ目は、自分も相手も楽しむことができるからです。私が今日、下校する途中で同じ登校班の六年生が、「面白かったよ、すごかったね!」と褒めてくれました。それは私にとってすごく嬉しかった言葉でした。

二つ目は、発表していた間の「ジョイマン、レギュラー、オリエンタルラジオ、クールポコ、ララライ体操」の時、六年生や一、五年生が笑ってくれて嬉しかったからです。笑ってくれると自分も楽しくなりました。

「思いっきり楽しむ」ということは、とても良いことだと思いました。さらに、主役の六年生はもう中学生になってしまふけど、この六年生を送る会は、今回のスローガンを達成し、六年生にも在校生にも良い思い出が作れたと思います。

六年生を送る会で思った事

四年

最初は、とても緊張していたけれど、六年生が笑ってくれたからだんだんと緊張がほぐれていつて四年生の

発表の間にたくさん笑ってくれていて、最終的には緊張から楽しさに変わってとても良い演技ができたと感じて、うれしかったです。

六年生に伝えたかった気持ちは、クラブの時に困っていた時に助けてもらっていて、ありがたうをその時に言えてなかったから、今回の演技でその気持ちを伝えました。僕も六年生みたいに、これから新しく入ってくる下級生を助けたいです。

六年生を送る会を終えて

五年

ぼくは、六年生を送る会で、態度や行動で感謝の気持ちをしっかりと伝えることを目標にしていました。六年生に対して、発表はもちろん、他にも、態度や行動、気持ちで感謝を伝えることができました。また、送る会のリーダーとして、五年生を引っ張ったり、セリフをしつかりと言うことなど、自分がしないといけないことを責任をもって活動することができました。

送る会を終えて、大勢の前でもセリフをはきはきと言うことの大変さや責任感をもって活動することの大切さを学びました。ぼくは、送る会を通してリーダーシップの力がついたと思うので、六年生になったら、委員会やクラブでリーダーになって、六年生のようにしてみたいと感じました。

五年

私はこれまで、「感謝をしつかり伝える」ことを一番大切にがんばってきました。そして、後悔しないように、どんどんActionを起こして

いくことを心がけました。達成できたことは、その心がけていたことと全校で六年生に感謝を伝えられて大成功したことです。

当日は、これまでで一番BESTを尽くせたと思います。心に残ったことは、本番では練習よりもレベルアップできるように意識してがんばったので、五年生の発表では合唱や呼びかけの声がそろっていたことと、それぞれが役割を果たせたことです。

これからは、みんなで協力すれば、成功できることを学んだので、これまでの二ヶ月よりももっとActionを起こしていつて、学年での団結力を六年生に向けてとどろきのぼしたり、高めたりしていくことを生活の中で意識しようと思います。

五年

ぼくは、六年生に対してありがたうの気持ちをちゃんと伝えようという事を意識して、六年生を送る会に取り組みました。

シンボル部の一員として、当日にステージ横に飾る掲示物を作成しました。それは「思い出のページ」がテーマになっていて、各学年の発表が終わる度に思い出の写真の絵をめくると、六年生へのメッセージが一字ずつ出てくるようになっていました。絵をめくる度に、下級生や六年生に「次はどんな文字が出てくるのかな。」と、楽しんでもらえることができて良かったです。

五年生の発表をした時には、ぼくは歌を大きな声で歌って、せりふも大きな声で伝えることをがんばりました。一年間の最後に、こんな大きな行事

を五年生全員で協力してやり切ることができたので、その力をこれからの生活にも生かしていきたいと思っています。

五年

ぼくは、六年生に対して必ず感謝を伝えることを目標にして全力で取り組みました。

六年を送る会は自分達五年生が企画した会なので、当日は自分達で体育館のふん囲気作りをするのを心がけました。あのような会には、ふん囲気が良いと盛り上がるし、気持ちも高まってくるのでとても大事ななと思いました。

今回とても達成感があった事は、この日までにみんなで協力し合えた事です。これまで、みんなで助け合いながらこんなに大きな目標に向かうという事はなかったたので、とても良い思い出になりました。

今回、五年生になってから一番みんなで団結する事ができていたと思います。先を予想して行動することの大切さも、よく分かりました。ぼくは、この六年生を送る会を通して、たくさんの発見があったり力がついたと思います。来年は、自分達が最学年だという意識をもってがんばります。



「小学校生活の思い出を言葉に」

六年生

亀岡小学校での思い出を川柳にしました。五・七・五の十七音のリズムを基本として、その時の出来事や心情を表現しました。

修学旅行 平和を学びに 広島へ
先生達 楽しい授業を ありがとう
教室に 暗い空気は 似合わない
せーのせーの 努力の結果 心動かす
声からす 全力応援 運動会
寒いけど 心ぼかばか うれしすぎ
卒業だ ふだんの会話で 感じ取る
たくさんの 思い出詰まった 六年間
忘れない 汗と涙の 運動会
引くほどに まぶしかった 組体操
桜咲き 入学式へ ドキドキだ
運動会 最後の走り 思い出だ
前を向き 中学校でも がんばるよ
卒業だ いろんな思い出 ありがとう
そよ風よ 桜咲きゆく 春の歌
小学校 卒業したら 中学生

卒業生 「起立」の声で 中学生
亀小へ 良い六年間 ありがとう
「楽しい」は みんなで作った 修学旅行
最高の 笑顔あふれる 卒業式
ランリック 思い出詰まった 宝物
思い出が たくさんできた 六年間
いつまでも 忘れられない 六年間
送る会 一致団結 全校で
ドキドキだ 桜の花さく 入学式
六年生 修学旅行 楽しかった
思い出が たくさんあった 六年間
送る会 最後の思い出 ありがとう
楽しいな 修学旅行 学び合い
楽しめた 修学旅行 広島へ